

皿かぶり競走

(国スポ・デモスポ)

競技説明

全国的にも珍しい頭に素焼きの皿をかぶせて20mを駆け抜ける競技！老若男女、年齢関係なく、誰でも参加できる競技です。足の速さとは関係なく、バランスを取ることに集中した大胆な攻めが勝敗のポイントです。お皿を落としても誰からも怒られないのも醍醐味！

有田町の小学生は運動会で毎年、実施されている競技なので、有田っ子が意外と強いかもしれません。

ルール

1レース5名の個人戦。直径18cmの円形の素焼きの皿の高台面を上にして、凹面は頭側になるようにかぶります。

走る距離は20m。スタートラインから5m先に置いてある皿まで走り、残り15mは頭に皿をかぶせて走ります。

レース中、両手は肩より上に上げてはいけません。また、皿が頭から落ちそうなときは、触ってもいいですが、必ず立ち止まること。また、地面に落ちる前に皿をキャッチした場合は、その場で立ち止まり、かぶりなおせば、レースを続行できます。

片足がゴールラインを越えたらゴールとなり、お皿を落としてしまった人は失格です。